

●主な活動の記録 (1月~3月)

平成 26 年 1 月 11 日 (土) 定例活動(活動始め) 矢田山遊びの森

口々に”御目出とうございます、今年も宜しく”とお互いに挨拶を交わしながら 27 名が参集。理事長の年頭の挨拶に始まり、新年会開催の案内、準備体操で朝礼を終え、本日の作業予定である、倉庫の整理・炭窯周辺の整理とぜんざい・甘酒の準備とに分かれた。

昼食時には、この一年安全に活動出来る事を願って甘酒で乾杯の後、振舞われたもち入りぜんざいで体を暖めながら暫し歓談。

次いで、部会(作業・お楽しみ・クラフト)毎に集まり、これからの活動につき話合いを持ち、それぞれ活発な意見が出ていた。

最後に午前中の作業の残りをし終え解散。



年始の準備



倉庫の整理



クラフト材料の整理



炭窯周辺の整理

<部会別の要点>

・機械部会

刈払い器の刃は、使う人が取付け、安全確認後使用の事

機械使用後は、その日に整備

作業現場へ工具・燃料・オイル・シートの持参

・クラフト部会

過去の活動内容を一覽で網羅

季節の行事に絡めて”見る・食べる・作る”をテーマとした展開

新たに紙漉に取組み、名刺等を作ってみる

皆が指導出来るよう、定例活動日に順次練習

・お楽しみ部会

4月第一回定例活動日に恒例のお花見が予定されており、これに因んで

”ちらし寿司”づくりに挑戦。乞うご期待

1月15日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

一昨年来実施している「緑の募金」公募事業としての竹の除伐、10名が参加。かなり

作業が進み、竹は遊歩道からの視界には入らなくなり、見透しがよくなり生駒山脈が

はっきり望めるようになった。

1月25日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

春を思わせるような気持ちの良い日、22名が参集。午前中はFV連の「緑の募金」公募事業のモミジ谷での間伐を進めると共に、以前伐倒し葉枯らししておいたのを玉切りしベンチづくり用に搬出。

午後は2月11日実施予定の”親子自然観察会”のためBコースを下見、チェーンソーの整備、炭窯近辺の枯損木の処理と片付けを分かれて実施。



間伐



搬出



自然観察



整備

1月29日(水) 新年会 西大寺味楽座

19名が参加。今年は前身のグリーンボランティアならクラブが平成9年に設立されてから17周年。3年後には20周年を迎えるにあたり、記念すべき事業の実施に向けて準備開始の年として飛躍したいとの挨拶に続き、生涯現役の内山長老の、今年も元気で楽しく活動を！との発声で乾杯。その後、鍋を囲んで大いに歓談。気が付けば、時計の針は終了時間の午後9時を指していた。

2月2日(日) 自主活動 矢田山遊びの森

予報に反し、夜来の雨は朝にはほぼ上り、7名が参加。予定の竹の伐採を取止め、午前中はモミジ谷遊歩道脇に仮置きしておいた間伐材や枯損木を炭焼き小屋に搬入。

午後はそれらの材を、炭材・薪・炭焼き用上げ・敷き木の用途別に仕訳し割った、小口切りをした。

2月8日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

目が覚めると、外は一面銀世界。幸い明け方から降りだしたみぞれのお陰で道路はシャーベット状故、注意をしながら車をゆっくりと転ばして矢田山遊びの森へ。安全を考え徒歩で来たメンバーを含め、6名が参加。予定したまほろば展望台の眺望を阻害している雑木の除伐を取止め、今後の活動予定並びに事業内容の打合せや、この日持ち込まれた会員手作りの木箱を使って倉庫の器具類の整理。その後皆で炭焼き用薪づくりをし、道路の凍結もあり、昼過ぎに作業を終え遅めの昼食を取って解散。時折元気な親子連れが、芝生広場での雪滑りを楽しみにやっていた。

2月11日(火) 冬の親子自然観察会 矢田山遊びの森

セブンイレブン記念財団助成事業の一環として、季節毎に開催し、今回が本年度最後となる観察会。

午前の部は大西森林インストラクターの案内で11名がBコースをスタート、途中出合わせたハイカー2名も加わり一時間強かけて丁寧に観察。中にアマチュアカメラマンの参加があり、熱心に葉っぱや木の実にレンズを向けて接写をされていた。

午後からは、新たに5人の家族連れの参加があり、今度はAコースを回った。参加した子供は、資料を手に熱心に説明を聞いていた。



熱心なアマカメラマン



説明を聞く



メダカ池の観察



午後の部

2月19日（水） 自主活動 矢田山遊びの森

県自然環境課からの要請を受け、まほろば展望台から若草山方面をのぞむ眺望を阻害している木々の伐採を行った。参加者10名でまだ雪の残る展望台（矢田丘陵最高所）前面をコの字型に10メートル弱の幅での伐倒を行った。一部枝払い・玉切り処理をしたがまだかなりの未処理が残り、次回定例活動日にもっと人手を増やし再度作業を行うこととし、処理したもの一部を炭焼き用材にするため炭窯へ搬入した。

2月22日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

穏やかな晴天のこの日、堺市から久し振りの参加者を含め23名。恒例のラジオ体操で体をほぐした後、①まほろば展望台での除伐 ②シイタケの植菌の二手に分かれて作業を行った。

まほろば展望台付近での除伐は、前回の自主活動から引続いての眺望確保のためのものにて、伐倒・整理作業。かなり眺望は改善され奈良市街が望めるようになってきたが、後30本程の除伐が必要にて次回自主活動にて行う予定。シイタケ植菌はFV連の緑の募金公募事業の一環として実施され、当クラブより8名が参加。ホダ木へのドリルでの穴あけを男性が、大事な駒打ちを女性が受け持った。当初用意した1,300個の駒が、穴あけにむらがあったためか駒が足りなくなり、急遽補充買いに走った。ホームセンターを3軒廻ってやっと購入。収穫祭を楽しみに無事作業を終えることが出来た。

3月2日（日） 自主活動 矢田山遊びの森

前日の予報では、雨で心配されたが、10名の参加者あり。前回の定例活動に引き続き、まほろば展望台の眺望回復作業を行った。展望台で出合った二人の女性ハイカーから、伐った木々の中に「青モジ」があり、開花するとスズランの様な可憐な花になると教わった。お二人は週二三回法隆寺から子ども交流館まで往復されているとのこと。この作業で視界が拓けると期待されていた。同森の管理者である県自然環境課の手での予めマーキングしておいてもらった木々の伐倒は完了。東の正面に改修工事中の薬師寺から若草山、10時の方向の市役所方面等よく眺められるようになった。まだ目障りな高木5~6本があり、それらも伐倒の指示を受け、次回の活動日に作業をすることとした。



作業風景



奈良市街を望む

3月8日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者は、初参加の男性一名を含め 21 名と、毎年この時期参加を頂くリコージャパン(株)の社員有志 18 名。午前中は、まほろば展望台付近での除伐材整理と炭窯での炭焼き用材づくりの二手に分かれての作業。除伐材は炭焼き用に搬出のため、大きなものは引っ張りだこ(簡易ウインチ)で巻上げ、手頃なものは手運びで、又枝は女性の手で十数本づつ束ねて軽トラックで炭窯までピストン輸送。この間、前回の作業後指示のあった追加 6 本の除伐を実施。用材づくり班は、運び込まれた材の内、大きなものは薪割り器で、他は斧で割り炭材や薪づくりをしたり、木工クラフトでのベンチづくり用に木の皮むきをした。リコーの方々も午前中のみ参加のため、除伐材整理班は昼前に戻った。午後は、残った者全員で用材づくりを行った。初参加者は活動に大いに興味を持ってもらったようで、今後継続的な参加が大いに期待出来る。後、理事会を開催、下記決定・報告があった。

1. 国土緑推より案内のあった公募事業、当クラブは昨年度に続き緑の募金「ふるさとの森林再生事業」としての竹の除伐を主体とした事業、FV 連は従来からの「緑と水のファンド」でのリーダー研修会事業をそれぞれ応募することとし担当者を決めた。
2. 炭焼きのスケジュールを確定し、一般参加の呼び掛けをすることし HP のイベント開催案内に掲載。又合間をぬって木工クラフトとしてベンチづくりを合わせ行う予定。
3. 外部会議への参加報告として
 - ・法隆寺古事の森育成協議会、本年は春日奥山古事の森と同様イベントを計画中
 - ・海づくり全国大会、当県で 11 月 16 日開催に際しての協力要請
 - ・7 月 21 日県が開催の山の日川の日木工クラフト指導で参加、又当クラブとしては協賛イベントを 7 月 26 日(土)と 8 月 9 日(土)に開催予定
4. 会計より、会計処理基準、事業運営規定、会員掌握方法等につき提案・報告



引っ張りだこ

集材

薪割り器

皮むき

3月19日 自主活動 矢田山遊びの森 まほろば展望台

非常に暖かいこの日、13 名が参加。先月より取り組んだ同展望台よりの眺望を阻害している木々の除伐、何回か追加伐りを重ねた結果若草山並びに奈良市街が広く望めるようになった。伐倒した木々もかなり炭焼き用に搬出、すっきりと片付き、ハイカー達からも口々に綺麗にしてもらい”有難う”との感謝の声。

3月22日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

初参加の男性一名を含む 20 名が参加。午前中は、FV 連「緑の募金」公募事業としてのモミジ谷間伐作業に参加。いずれも樹高のかなり高いものだけに、掛かり木となること避けられず、これの処理に苦戦する場面が見られた。この間、女性陣は 4 月の花見会時の食事の打合せ準備を行った結果、予告した料理(ちらし寿司)の内容に変更ある由。何になるかは当日のお楽しみ。

午後、全員で炭焼きのための炭材・薪用として薪割り、小口切りを行いほぼ準備が調った。

この日朝礼の際、月間雑誌”現代林業”4月号に当クラブの活動内容に関する記事があることが紹介された。
[次をクリックすれば閲覧出来ます。→MG_20140326_0003.pdf へのリンク](#)